

第5学年竹組 理科「もののとけかた」略案

指導者 工藤伸子

1. 日時 1月20日(木)竹組 (10:30~11:15)
2. ねらい ○ もののとけかたについて興味をもち、進んで食塩のとける様子や液の様子を観察することができる。
3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
10:30	1. センターの先生から、問題を出していただく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 食塩を水に入れると、食塩のつぶはどうなるだろうか。 </div>	センターの先生のクイズについての自分の考えを書き込めるような学習シートを準備する。 問題の答えについて考えたことを発表し合う中から、本時間の課題を引き出すことができるようにする。	1問ずつ、子どもとやりとりをしながら問題を出していただく <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> 何の粒でしょう？ 水に入れるとどうなると思う？ どんな風にとけると思う？ 絵と言葉で書いてみて。 </div>	・学習シート
10:40	2. 食塩がとける様子を自分の言葉でまとめる。	実験を見た感想から、食塩が水にとける様子を子どもの言葉でまとめることができるようにする。	食塩がとける様子を見せていただく。	・食塩の粒の写真
10:45	3. 自分たちも、食塩を水にとかしてみる。	食塩が底に達しても、どうなるか最後まで観察するよう指示する。	子どもたちの実験の様子を見守っていただく。	・ペットボトル ・食塩 ・茶こし ・スプーン ・目玉クリップ ・わりばし ・ティーバック
11:00	4. 実験結果をまとめる。 ・とけ方 ・水の様子	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 食塩のとけかたに興味をもち、進んで食塩のとける様子や液の様子を観察しているか。 </div>		
11:05	5. 食塩の粒は、水の中でどのようになって、とけているのか考える。	最初の2分は一人で、その後グループで2分話し合うことで自信をもって発表できるようにする。	話し合いが終わったあと、ものがとけて水の中に広がり、すきとおった液を「水溶液」ということを教えていただく。合わせて、食塩の水溶液を「食塩水」と呼ぶことを教えていただく。	・画用紙 ・マジック
11:15	6. ふり返りをする。 ・今日の授業について ・疑問や調べてみたいこと	疑問や調べてみたいことを書いている子どもを指名することで、次時の活動につなげていく	調べるにあたっての助言をしていただく。	